



在宅総合支援センターだより

在宅医療・介護連携推進事業

▶ 令和2年1月18日(土)遠賀中間地域医療・介護関係者研修会を開催しました。 ◀



遠賀中間地域の在宅医療・介護連携推進事業における医療・介護関係者の方を対象として、在宅医療についての講演と映画上映を行いました。

- 【内容】①講演 訪問診療についてみんなで考える
②映画上映 「ピア」～まちをつなぐもの～

【講師】遠賀中間医師会病院 統括副院長 末廣 剛敏 氏

【場所】遠賀町中央公民館 大ホール

【対象者】医師、歯科医師、薬剤師、看護師、
リハビリ職、MSW・退院調整者、
介護支援専門員、介護職、行政職員 等



講演

訪問診療をテーマとして、講演と映画上映を行いました。遠賀中間地域における医療機関関係者や介護サービス関係者、行政機関の方々にご参加いただきました。

講演では、遠賀中間医師会病院統括副院長 末廣 剛敏 氏をお招きして、「訪問診療についてみんなで考える」～在宅医療を円滑にすすめるために～をテーマに、超高齢社会における諸問題から要介護者の状況、在宅医療の実際、人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)などについて詳しくお話がありました。

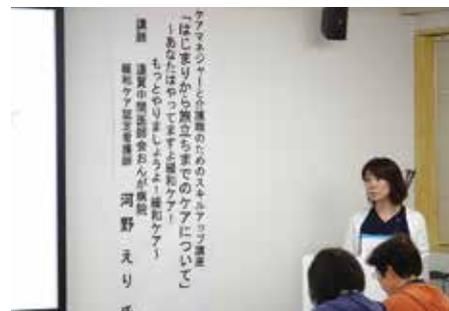
実施後のアンケートでは「今後の高齢化社会の中で患者さんを見守っていく中で、どう向き合っていくのか自分を見つめ直すきっかけになった。」「患者さんが自分の想いを伝えることが出来る信頼関係の大切さを改めて感じた。」などの意見を頂きました。映画「ピア」についても大変好評で、「自分にこれから何が出来るか考えさせられました。とても感慨深い映画でした。」「在宅医療だけでなく周りを取りまく環境や、個人の尊厳に対するアプローチ、チームとしての有り方がよくわかりやすく伝わりました。」などの声が聞かれました。

▶ 医療・介護関係者の研修 ◀

12月9日(月)、ケアマネジャーと介護職のためのスキルアップ講座を開催しました。

遠賀中間医師会おんが病院 緩和ケア認定看護師 河野 えり 氏を講師にお招きして、「はじまりから旅立ちまでのケアについて」～あなたはやってますよ緩和ケア！もっとやりましょうよ！緩和ケア～と題して、意思決定支援(ACP、AD、DNAR、LW)、がんの治療(抗がん剤、放射線療法)、痛みに対するケア、最期の時の過ごし方についての講義がありました。

研修後のアンケートから、「癌のターミナル期のプランの立て方に役に立つと思いました。最新の癌の治療やケアについて学べました。」「抗がん剤使用により起こる口内炎の対処法など患者さんへの対処を細かく話していただけて、役立つ話ばかりでした。」などのご意見がありました。参加された方にとって、今後活かせる内容となったようです。



特集コーナー

今回は「訪問看護ステーション」「遠賀・中間地区老人ホーム連絡協議会」の取り組みについてご紹介いたします。

訪問看護ステーションの災害対策

訪問看護ステーションの取り組み

各地域の訪問看護ステーションの情報は、在宅総合支援センターのホームページから「医療・介護資源リスト一覧」をご覧ください

東日本大震災から9年が経ちました。このような災害はもう二度とあってほしくないと祈るばかりです。今、訪問看護では、災害対策のマニュアル作成に真剣に取り組んでいます。

講演会

2019年12月17日(火)、福岡県訪問看護ステーション連絡強化事業の研修会で、災害対策に関する研修会を遠賀中間医師会館多目的ホールで行いました。講師に、九州北部豪雨災害を体験され、県内外で災害対策について講演されている、朝倉医師会介護支援センター センター長 福田輝和氏をお招きしました。実際に災害を目の当たりにした体験についての貴重な講演でした。



演 題：九州北部豪雨災害における在宅医療・介護の取り組み

参加人数：医師2名 看護師31名 消防・救急3名 介護支援専門員30名
介護施設26名 他6名

内 容：2018年7月5日豪雨災害発生で川の氾濫、土砂災害がおこる。利用者の安否確認、行政他の事業所との連絡がとれない状況になる。人工呼吸器→保健所との対応が当日とれない。避難所の感染対策→配給弁当3日目より届くが高齢者食べれず取っておくが40℃の室温で腐るので回収。トイレ掃除、医療ケアシートの作成、必要備品をまとめ、大事なケア方法は写真を残す。

災害発生→救命→混乱期→避難生活→復旧→どういうふう動くか関係機関の連携が大切。

今後の対応：災害直後にどう対応するかに重きを置いて考えがちですが、災害から復旧して要救護者が自宅に戻るときの対応も重要です。訪問看護は医療、歯科、薬剤、介護等の情報を把握しており、地域において率先的に動く必要があります。

宗像遠賀地域在宅医療推進協議会においても、災害対策を医師、行政、保健師、消防、福祉で検討しています。いつ起こるかかわからない災害。個人や企業、行政において、いざというときに少しでも被害を抑えるために、物資・仕組み・心構えなどについてさまざまなレベルで多角的に災害に備えておく必要があります。



社会福祉法人における地域貢献活動

これまでに社会福祉法人・福祉施設の持つ専門性やノウハウを活用した多様な取組を行ってきました。介護の分野に留まらず、地域の総合相談窓口、災害時の受け入れ、制度の狭間で苦しんでいる方の積極的な支援など行ってきました。今後も「地域の一員」として、地域の福祉力を高めることを目指した活動を実践して参ります。

福祉施設における災害時の役割

遠賀・中間地区の避難の要

ひとたび災害が起こると、生活は激変します。地域の要援護者支援という点において、大きな役割が求められます。想定外の様々な災害が発生している昨今、遠賀・中間地区はゲリラ豪雨による遠賀川とその支流の氾濫が懸念されており、福祉施設が避難所に指定されています。



熊本地震時の支援活動



地震発生後48時間で現地入り

平成28年4月の熊本地震では、遠賀・中間地区老人ホーム連絡協議会で組織する各施設が、地震発生後、災害時の備蓄物資を施設職員が被災地へ届けました。また義援金や物資の支援だけではなくスタッフを現地へ派遣し復興支援を行いました。

災害に強いコミュニティ作り

地域の福祉力の向上のお手伝い

災害が発生した時にお互いが助け合う関係作りを目指しています。公民館で行われている健康体操やサロンの企画や講師の派遣、参加を通して「地域の福祉力」向上の一翼を担っています。



地域住民との日常的な交流を深めることで、いざ災害が発生した際にお互いに助け合う信頼関係を築いています。さらに定期的に災害時を想定した避難訓練を地域住民と一緒に実施することにより防災・減災に向けて取り組んでいます。



▲健康体操

被害が甚大な場合、高齢者施設が壊滅状態となり、比較的被害の少ない周辺地域の高齢者施設への避難が必要となります。また、在宅サービスも提供されなくなる為、自宅での生活が困難となることが予想されます。社会福祉法人として、さらに地域の一員として災害時の要援護者に対する支援を行うため、有事に備えて避難所開設の準備や定期的な訓練を行う事で受け入れ態勢を整えています。

“出前講座”を行っています

地域の公民館や地域交流センターなどへ在宅総合支援センターの職員がお伺いして、「在宅医療について」の出前講座を行っています。



遠賀町新町公民館にて

- 参加者：68名
- 年齢：60～90歳代

印象深かった内容

- ・在宅医療とは
- ・在宅医療でできること
- ・間質性肺炎について



水巻町高尾公民館にて

- 参加者：23名
- 年齢：70～80歳代

印象深かった内容

- ・在宅医療とは
- ・在宅医療でできること
- ・認知症について

医療・介護関係者の研修を行いました

医療・介護従事者が訪問に同行して実際の現場を体験することにより、在宅医療に対する視野を広め各々の領域の活動に活かすことを目的に、「訪問診療」「訪問歯科診療」「訪問看護」「訪問薬剤」に同行して研修を行う、同行訪問研修を実施いたしました。

・実施期間

令和元年10月1日から令和2年2月28日

・受け入れ協力医療機関

(訪問診療) コールメディカルクリニック福岡(宗像市)、遠賀中間医師会おんが病院(遠賀町)

(訪問歯科) ひだか歯科医院(水巻町)、水巻歯科診療所(水巻町)

(訪問看護) 遠賀中間医師会訪問看護ステーション(水巻町)、おんが病院訪問看護リハビリステーション(遠賀町)

(訪問薬剤) 梅ノ木調剤薬局(水巻町)

医師の在宅医療に関わる研修、病棟・外来・訪問看護師の在宅医療に関わる研修、ケアマネジャーやその他在宅医療・介護従事者の在宅医療に関わる研修として取り組んでいます。

同行訪問研修を受け入れていただきました医療機関の皆様、ご協力ありがとうございました。

在宅医療に関する医療機器整備(無料貸出)

当センターでは、在宅医療に使用する医療機器、研修用シミュレータを医療機関及びサービス事業所に無料貸し出しを行っています。借用の手続きや貸出物品などの詳細は在宅総合支援センターのホームページをご覧ください。

<医療機器貸出物品>

- ◎ ポータブル吸引器
- ◎ ポータブル吸引・吸引両用器
- ◎ 点滴スタンド
- ◎ 自然落下式輸液ポンプ
- ◎ PCAポンプ
- ◎ カフティポンプ
- ◎ カフ圧計
- ◎ 血液ガス分析器(携帯用)
- ◎ もの忘れ相談プログラムなど



在宅医療に関する相談窓口について

在宅総合支援センターには在宅医療・介護に関する相談窓口があります。お電話でのご相談も行っています。

専門のスタッフがおりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

在宅医療相談窓口

受付時間 月～金曜日
9時～16時

電話 093-281-3100

FAX 093-281-3105



発行 遠賀中間医師会 在宅総合支援センター

〒811-4342 遠賀郡遠賀町大字尾崎1725番地2

TEL 093-281-3100 FAX 093-281-3105

URL : <http://www.onnaka-med.or.jp/zaitaku/>